

第1回総会について

1) 演題発表について

- (1) スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリディスクまたは CD-ROM に保存したものをお持込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、御自分の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)
- (2) 発表 30 分前までに B1 会場スライド受付までご提出下さい。その際、試写（出力確認）も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。
- (3) プロジェクト責任者の総括の発表は 5 分、臨床プロジェクト計画・研究成果の発表（1 日目）は 5 分、討論 3 分で、基礎プロジェクト計画・研究成果の発表（2 日目）は 4 分、討論 3 分でお願い致します。時間厳守でお願いします。
- (4) 資料を配布される場合には、150 部を 7 月 28 日午前中必着で IBD 班事務局までお送りいただくか当日 8 時 40 分までに B1 会場までお持ち下さい。

2) 発表データについて

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。
不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願いします。

3) 会場セキュリティについて

- (1) 一階玄関ホール総会受付にて芳名録へご署名後、セキュリティカードをお受け取りいただき、改札を通って地下階会場へお進みください。
- (2) 館内はセキュリティ制でのセキュリティカードを必ず常時携行してください。退出される際にはカードをご返却ください。カードの紛失があると全館内のセキュリティに支障を来しますので、くれぐれも紛失な
らびにお持ち帰りにならないようご注意ください。

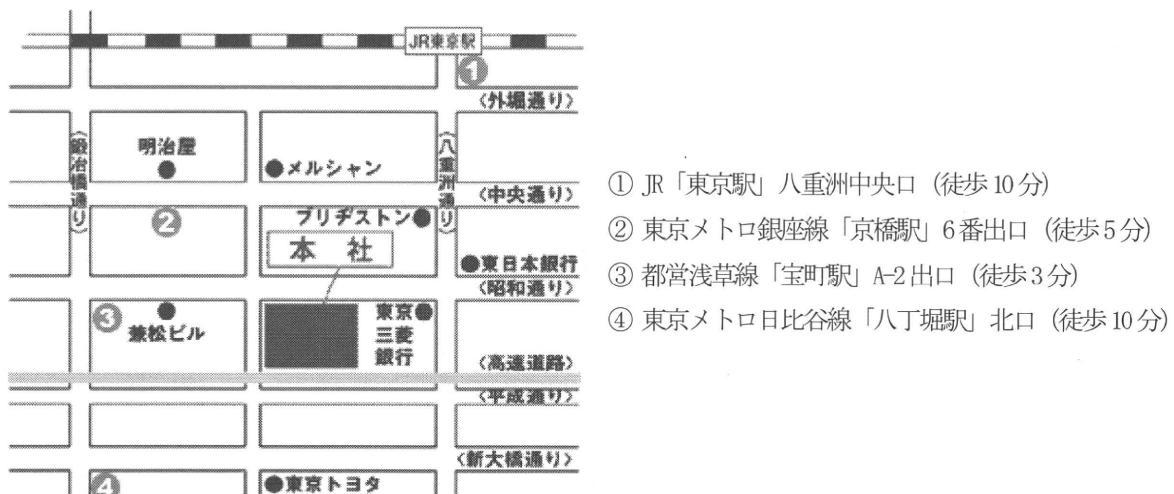
4) 懇親会について

7月29日会議終了後、12階カフェテリアにて懇親会を予定しております。

5) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

6) 会場案内図 味の素(株)本社ビル 東京都中央区京橋 1-15-1 / Tel 03-5250-8111



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成22年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成22年7月29日（木）

開会（9:00）

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課：中田 勝巳先生
- II. 研究代表者挨拶・研究の進め方 研究代表者：渡辺 守
- III. 研究報告

p-A)疫学・研究成果公表プロジェクト（総合プロジェクトリーダー：武林 亨、渡辺 守）

A-(1) 総括的疫学解析プロジェクト (9:20~9:40)

総括 武林 亨 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

炎症性腸疾患の記述疫学 一臨床調査個人票データより

○桑原絵里加¹、朝倉敬子¹、井上 詠²、渡辺 守³ (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学¹、慶應義塾大学医学部消化器内科・包括先進医療センター²、東京医科歯科大学医学部消化器病態学³)

潰瘍性大腸炎のリスク因子に関する多施設共同研究・症例対照研究（進捗状況）

○大藤さとこ¹、福島若葉¹、廣田良夫¹、押谷伸英²、渡辺憲治²、長堀正和³、渡辺 守³ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³、For the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis.)

A-(2) 患者視線に基づいた研究成果公表・広報活動プロジェクト (9:40~10:00)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

本邦の炎症性腸疾患患者・家族における炎症性腸疾患治療薬への意識調査（最終報告）

松本譽之¹、○福永 健¹、高後 裕²、蘆田知史³、松井敏幸⁴、平井郁仁⁴、藤山佳秀⁵、安藤 朗⁵、村岡良和¹、日比紀文⁶、岩男 泰⁶、長沼 誠⁷、渡辺 守⁷ (兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、札幌東徳洲会病院³、福岡大学筑紫病院消化器科⁴、滋賀医科大学内科学講座消化器内科⁵、慶應義塾大学医学部内科学⁶、東京医科歯科大学消化器病態学⁷)

IBD診療に有用な冊子作成にむけて（一般医の先生を対象に）

○長沼 誠¹、高後 裕²、蘆田知史³、藤谷幹浩²、前本篤男³、松本譽之⁴、福永 健⁴、佐々木巖⁵、福島浩平⁵、松井敏幸⁶、岩男 泰⁷、日比紀文⁷、藤山佳秀⁸、二見喜太郎⁹、小林清典¹⁰、田中正則¹¹、渡辺 守¹ (東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、札幌東徳洲会病院³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、東北大大学院医学系研究科外科病態学生体調節外科⁵、福岡大学筑紫病院消化器科⁶、慶應義塾大学医学部内科学⁷、滋賀医科大学内科学講座消化器内科⁸、福岡大学筑紫病院外科⁹、北里大学東病院消化器内科¹⁰、弘前市立病院臨床検査科¹¹)

p-B)臨床プロジェクト（総合プロジェクトリーダー：松本 譲之、佐々木 巖）

B-(1) 診療標準化コアプロジェクト

B-(1)-1 潰瘍性大腸炎・クロール病の診断基準および重症度基準の改変 (10:00~10:15)

総括 松井敏幸 福岡大学筑紫病院消化器科

潰瘍性大腸炎における小腸病変（診断基準プロジェクト）

松井敏幸、○久部高司、平井郁仁、二宮風史 (福岡大学筑紫病院消化器科)

B-(1)-2 診療ガイドライン作成・改訂 (10:15~10:45)

総括 上野文昭 大船中央病院消化器肝臓病センター

-Guidelines for the management of ulcerative colitis in Japan -Developed through integration of evidence and consensus among experts- の発刊に向けて

○松岡克善¹、Tung-Chun Lee²、上野文昭³、日比紀文¹（慶應義塾大学消化器内科¹、Department of Medicine, National Taiwan University²、大船中央病院³）

日本消化器病学会と共同開発中の市民向けクローン病ガイドブックについて

○上野文昭¹、松本譽之²、伊藤裕章³、井上 詠⁴、小林清典⁵、小林健二⁶、杉田 昭⁷、鈴木康夫⁸、野口善令⁹、渡邊聰明¹⁰、松井敏幸¹¹、渡辺 守¹²、正田良介¹³、樋渡信夫¹⁴、尾藤誠司¹⁵、日比紀文¹⁶、中山健夫¹⁷（大船中央病院消化器肝臓病センター¹、兵庫医科大学下部消化管科²、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック³、慶應義塾大学消化器内科⁴、北里大学東病院消化器内科⁵、大船中央病院内科⁶、横浜市立市民病院外科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、名古屋第2赤十字病院総合内科⁹、帝京大学医学部外科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器科¹¹、東京医科歯科大学消化器内科¹²、国立国際医療センター総合外来部¹³、いわき市立総合磐城共立病院¹⁴、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、京都大学健康情報学¹⁷）

クローン病診療ガイドライン（厚生労働省研究班バージョン）：最終案の内部評価

○上野文昭¹、松本譽之²、伊藤裕章³、井上 詠⁴、小林清典⁵、小林健二⁶、杉田 昭⁷、鈴木康夫⁸、野口善令⁹、渡邊聰明¹⁰、松井敏幸¹¹、渡辺 守¹²、正田良介¹³、樋渡信夫¹⁴、尾藤誠司¹⁵、日比紀文¹⁶、中山健夫¹⁷（大船中央病院消化器肝臓病センター¹、兵庫医科大学下部消化管科²、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック³、慶應義塾大学消化器内科⁴、北里大学東病院消化器内科⁵、大船中央病院内科⁶、横浜市立市民病院外科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、名古屋第2赤十字病院総合内科⁹、帝京大学医学部外科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器科¹¹、東京医科歯科大学消化器内科¹²、国立国際医療センター総合外来部¹³、いわき市立総合磐城共立病院¹⁴、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、京都大学健康情報学¹⁷）

B-(1)-3 標準化を目指した治療指針の改訂 (10:45~11:25)

総括 松本譽之 兵庫医科大学内科学下部消化管科

標準化を目指した治療指針改訂（①内科潰瘍性大腸炎、②内科クローン病、③外科治療指針、④小児治療指針）

○松本譽之¹、③杉田 昭²、④余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木 巖¹²、友政 剛¹³、中村志郎¹⁴、福永 健¹⁵、樋田信幸¹⁶、應田義雄¹⁷（兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBDセンター⁴、滋賀医科大学内科学講座消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁹、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生体調節外科学¹²、パルコどもクリニック¹³）

B-(2) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト 一診断面から一

B-(2)-1 新たなデバイスを用いたクローン病小腸病変の診断と治療 (11:25~12:00)

総括 松本主之 九州大学大学院病態機能内科学

クローン病小腸狭窄におけるリムーバルステントの使用経験

○馬場重樹¹、辻川知之¹、安藤 朗²、藤山佳秀¹（滋賀医科大学内科学講座消化器内科¹、滋賀医科大学大学院消化器免疫分野²）

クローン病小腸病変に対する CT enterography の検討—クエン酸マグネシウム等張溶液による腸管拡張法とガス拡張方法の画像比較—

○竹内 健、飯田貴之、阿部仁郎、渡辺文利、小山繁彰、花井洋行（浜松南病院消化器病 IBDセンター）

クローン病病変に対する MR enterocolonography の有用性の検討 一多施設研究に向けて一

○玄 世鋒、長堀正和、藤井俊光、長沼 誠、渡辺 守（東京医科歯科大学消化器病態学）

クローン病に対するカプセル内視鏡検査におけるパテンシーカプセルによる滞留予防の有用性の検討

○渡辺憲治¹、塚原卓矢¹、渡部公彦¹、新藤正喜¹、伊藤良恵¹、森本謙一¹、細見周平¹、鎌田紀子¹、十河光栄¹、山上博一¹、荒川哲男¹、大宮直木²、中村正直²、後藤秀実²（大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹、名古屋大大学院医学系研究科消化器内科学²）

<昼食・幹事会> (12:00~13:00)

B-(2)-2 癌サーベイランス法の確立 (13:00~13:20)

総括 渡邊聰明 帝京大学医学部外科

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

○渡邊聰明¹、味岡洋一²、松本譽之³、武林 亨⁴、井上永介⁵、飯塚文瑛⁶、五十嵐正広⁷、岩男 泰⁸、大塚和朗⁹、工藤進英⁹、小林清典¹⁰、佐田美和¹⁰、田中信治¹¹、友次直輝¹²、樋田信幸³、平田一郎¹³、松本主之¹⁴、渡辺憲治¹⁵、上野文昭¹⁶、渡辺 守¹⁷、日比紀文¹⁸（帝京大学医学部外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、兵庫医科大学下部消化管科³、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁴、北里大学薬学部臨床統計⁵、東京女子医科大学消化器病センター⁶、癌研有明病院内科⁷、慶應義塾大学内科⁸、昭和大学横浜市北部病院消化器センター⁹、北里大学東病院内科¹⁰、広島大学病院内視鏡診療科¹¹、慶應義塾大学クリニックリサーチセンター¹²、藤田保健衛生大学消化管内科¹³、九州大学大学院病態機能内科学¹⁴、大阪市立大学医学部消化器内科¹⁵、大船中央病院・消化器肝臓病センター¹⁶、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁷、慶應義塾大学医学部・消化器内科¹⁸）

クローン病に合併した大腸癌の surveillance program の検討（直腸狭窄、痔瘻長期経過例の surveillance）—preliminary study 案—

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、飯合恒夫⁷、荒木俊光⁸、渡邊聰明⁹、佐々木巖¹⁰（横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、東北労災病院大腸肛門外科³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、大阪労災病院外科⁵、東京女子医科大学第2外科⁶、新潟大学消化器・一般外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、帝京大学外科⁹、東北大学生体調節外科¹⁰）

B-(3) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト 一治療面から一

B-(3)-1 難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療の位置づけ (13:20~13:30)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療薬の位置づけ

○松岡克善、金井隆典、井上 詠、久松理一、斎藤理子、筋野智久、高林 馨、米野和明、三上洋平、三好 潤、水野慎大、矢島知治、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文（慶應義塾大学消化器内科）

B-(3)-2 適切な免疫調節剤投与法、infliximab 二次無効例に対する対処 (13:30~13:45)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

インフリキシマブと免疫調節薬併用に関する薬物動態解析の検討

○鈴木康夫（東邦大学医療センター佐倉病院内科）

B-(3)-3 TREAT 研究中間解析結果と今後の解析について (13:45~14:05)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

JTREAT 研究中間解析結果と今後の解析について

JGREAT研究会 代表 兵庫医科大学下部消化管科 松本譽之

土方康孝¹、佐々木誠人¹、水野真理¹、国崎玲子²、木村英明²、千葉俊美³、山本章二朗⁴、三上 栄⁵、松浦 稔⁵、仲瀬裕志⁵、奥山祐右⁶、坂上順一⁷、内藤裕二⁷、保田宏明⁷、加賀谷尚史⁸、岡本 晋⁹、久松理一⁹、長沼 誠⁹、岩男 泰⁹、緒方晴彦⁹、石黒 陽¹⁰、櫻庭裕丈¹¹、伊藤裕章¹²、細川雅代¹³、山下健太郎¹³、下立雄一¹⁴、寺門洋平¹⁴、本谷 聰¹⁴、前本篤男¹⁵、○蘆田知史¹⁵、荒木俊光¹⁶、辻川知之¹⁷、飯塚政弘¹⁸、福田勝之¹⁹、垂水研一²⁰、柿本一城²¹、阿部洋平²²、石田久美²³、川上 研²³、村野実之²³、森田英次郎²⁴、十河光栄²⁵、渡辺憲治²⁶、飯島英樹²⁷、野澤慶次郎²⁸、石原俊治²⁹、久保田大輔²⁹、金井隆典²⁹、玄 世峰²⁹、長堀正和²⁹、渡辺 守²⁹、猿田雅之²⁹、須藤訓様²⁹、有廣誠二²⁹、谷島麻利亞²⁹、飯塚文瑛²⁹、鈴木康夫³⁰、舟山裕士³¹、小島康弘³¹、長坂光夫³²、渡邊 真³³、中井勝彦³³、渡辺文利³⁴、花井洋行³⁴、竹内 健³⁴、飯田貴之³⁴、高津典孝³⁵、中村志郎³⁵、吉田幸治³⁶、小坂正³⁶、松本譽之³⁶、富田寿彦³⁷、三浦總一郎³⁸、穂苅量太³⁸、永尾重昭³⁹、久保田美和⁴⁰、小林清典⁴¹、谷田論史⁴¹、前田 修⁴²、安藤貴文⁴²、荒川大吾⁴²、三宅忍幸⁴²、大宮直木⁴²、中村正直⁴²、渡辺 修⁴²、本田 豊⁴²、後藤秀実⁴²、金城福則⁴²、高後 裕⁴²、日比紀文⁴³、武林 亨⁴³（愛知医科大学消化器内科¹、横浜市立大学総合医療センター²、岩手医科大学附属病院第一内科³、宮崎大学医学部消化器血液内科⁴、京都大学医学部附属病院消化器内科⁵、京都第一赤十字病院消化器科⁶、京都府立医科大学附属病院⁷、金沢大学附属病院消化器内科⁸、慶應義塾大学病院消化器内科⁹、弘前大学医学部附属病院光学医療診療部¹⁰、弘前大学医学部附属病院消化器・血液・膠原病内科¹¹、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック¹²、札幌医科大学医学部内科学第一講座¹³、札幌厚生病院第一消化器科¹⁴、札幌徳洲会病院消化器 IBD センター¹⁵、三重大学医学部附属病院¹⁶、滋賀医科大学医学部附属病院消化器内科¹⁷、秋田赤十字病院附属あきた健康管理センター¹⁸、聖路加国際病院¹⁹、川崎医科大学病院食道・胃腸内科²⁰、大阪医科大学第二内科²¹、大阪医科大学内視鏡センター²²、大阪市立大学消化器内科²³、大阪大学消化器内科²⁴、帝京大学病院外科²⁵、島根大学医学部附属病院消化器内科²⁶、東京医科大学医学部附属病院消化器内科²⁷、東京慈恵会医科大学²⁸、東京女子医科大学病院消化器内科²⁹、東邦大学医療センター佐倉病院内科³⁰、東北労災病院外科³¹、藤田保健衛生大学消化管内科³²、浜松松田病院 IBD センター³³、浜松南病院消化器病・IBD センター³⁴、福岡大学筑紫病院消化器科³⁵、兵庫医科大学下部消化管科³⁶、兵庫医科大学病院上部消化管科³⁷、防衛医科大学校内科学³⁸、防衛医科大学校光学医療診療部³⁹、北里大学東病院消化器内科⁴⁰、名古屋市立大学病院消化器代謝内科⁴¹、名古屋大学医学部附属病院消化器内科⁴²、琉球大学光学医療診療部⁴³、旭川医科大学消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁴⁴、慶應義塾大学医学部内科学⁴⁵、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁴⁶）

B-(3)-4 術後 Infliximab 併用による寛解維持効果 (14:05~14:15)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

術後レミケード併用による寛解維持効果

佐々木巖¹、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、武林 亨²、渡辺 守³、○福島浩平⁴、岡崎和一⁵、吉岡和彦⁶、仲瀬裕志⁷、長沼 誠⁸、井上 詠⁸、日比紀文⁸、千葉俊美⁹、本谷 聰¹⁰、小澤平太¹¹、荒木靖三¹²、太田章比古¹³、亀岡信悟¹⁴、加賀谷尚史¹⁵、山本隆行¹⁶、吉川周作¹⁷、寄山敏男¹⁸、高木智久¹⁹、吉田 優²⁰、木内喜孝²¹、松田耕一郎²²、二見喜太郎²³、石黒 陽²⁴、後藤秀実²⁵、国崎玲子²⁶、木村英明²⁶、正木忠彦²⁷、伊藤裕章²⁸、渡邊聰明²⁹、上野義隆³⁰、鈴木康夫³¹、池内浩基³²、高橋賢一³³、舟山裕士³⁴、杉田 昭³⁴、友次直輝³⁵、井上永介³⁶、樋渡信夫³⁷、飯島英樹³⁸、中村好宏³⁹、中村志郎⁴⁰（東北大学大学院生体調節外科学分野¹、慶應義塾大学公衆衛生学²、東京医科歯科大学消化器病態学³、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁴、関西医科大学内科学第三講座⁵、関西医科大学香里病院外科⁶、京都大学医学部附属病院内視鏡部⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸、岩手医科大学内科学講座⁹、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター¹⁰、北里大学医学部外科¹¹、大腸肛門病センターくるめ病院¹²、家田病院肛門科¹³、東京女子医科大学第二外科¹⁴、金沢大学消化器内科¹⁵、四日市社会保険病院外科¹⁶、医療法人健生会土庫病院奈良大腸肛門病センター¹⁷、鹿児島大学病院消化器内科¹⁸、京都府立医科大学大学消化器内科¹⁹、神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野²⁰、東北大学高等教育開発推進センター保健管理センター²¹、富山県立中央病院内科²²、福岡大学筑紫病院外科²³、弘前大学医学部光学医療診療部²⁴、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター²⁶、杏林大学消化器・一般外科²⁷、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック²⁸、帝京大学外科²⁹、広島

大学光学医療診療部³、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁴、兵庫医科大学下部消化管外科³、東北労災病院大腸肛門外科³、横浜市立市民病院外科³、慶應義塾大学クリニックリサーチセンター⁵、北里大学臨床統計部門³、いわき市立総合磐城共立病院⁴、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学³、防衛医科大学数学教室³、兵庫医科大学下部消化管内科⁴

B-(3)-5 外科治療法の現状と工夫 (14:15~14:50)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

クローン病の術後長期例における intestinal failure (short bowel syndrome) についての調査研究と対策

佐々木巖¹、○渡辺和宏¹、小川 仁¹、羽根田祥¹、福島浩平²、舟山裕士³、高橋賢一³、杉田 昭⁴、渡邊聰明⁵、池内浩基⁶、亀岡信悟⁷、楠 正人⁸、畠山勝義⁹、藤井久男¹⁰、二見喜太郎¹¹、吉岡和彦¹²、渡邊昌彦¹³ (東北大学大学院生体調節外科学分野¹、東北大学大学院消化管再建医工学研究分野²、東北労災病院外科・大腸肛門外科³、横浜市立市民病院外科⁴、帝京大学医学部消化器外科⁵、兵庫医科大学外科学⁶、東京女子医科大学第二外科⁷、三重大学大学院消化管・小児外科学⁸、新潟大学大学院消化器・一般外科⁹、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部¹⁰、福岡大学筑紫病院外科¹¹、関西医科大学附属牧方病院外科¹²、北里大学医学部外科¹³)

炎症性腸疾患の周術期における深部静脈血栓症・肺血栓症についての研究

亀岡信悟¹、○板橋道明¹、小川真平¹、廣澤知一郎¹、橋本拓造¹、番場嘉子¹、河野 透²、佐々木巖³、舟山裕士⁴、渡邊聰明⁵、長谷川博俊⁶、渡辺昌彦⁷、杉田 昭⁸、木村英明⁹、畠山勝義¹⁰、中村利夫¹¹、楠 正人¹²、藤井久男¹³、根津理一郎¹⁴、吉岡和彦¹⁵、池内浩基¹⁶、大毛広喜¹⁷、二見喜太郎¹⁸ (東京女子医科大学 IBD センター・第二外科¹、旭川医科大学外科学²、東北大学大学院生体調節外科学分野³、東北労災病院外科・大腸肛門外科⁴、帝京大学医学部外科消化器外科⁵、慶應義塾大学外科⁶、北里大学医学部外科⁷、横浜市立市民病院外科⁸、横浜市立大学炎症性腸疾患センター⁹、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科¹⁰、浜松医科大学外科¹¹、三重大学医学部外科学第 2¹²、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部¹³、大阪労災病院外科¹⁴、関西医科大学外科¹⁵、兵庫医科大学第二外科¹⁶、広島大学外科¹⁷、福岡大学筑紫病院外科¹⁸)

潰瘍性大腸炎に合併した肛門病変の検討

藤井久男¹、○小山文一²、中川 正²、内本和晃²、植田 剛²、錦織直人²、中島祥介²、吉川周作³、稻次直樹³ (奈良県立医科大学病院附属中央内視鏡・超音波部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、健生会奈良大腸肛門病センター³)

B-(3)-6 外科治療法の予後 (14:50~15:25)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院外科

クローン病の内科的治療の進歩と累積手術率の時代的変遷についての検討

○渡邊聰明¹、佐々木巖²、福島浩平³、杉田 昭⁴、渡辺 守⁵ (帝京大学医学部外科¹、東北大学大学院医学系研究科生体調節外科分野²、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科学分野³、横浜市立市民病院外科⁴、東京医科歯科大学消化器内科⁵)

潰瘍性大腸炎合併癌と一般大腸癌の術後成績の比較検討—全国登録データの解析結果—

○渡邊聰明¹、固武健二郎²、武藤徹一郎³、杉原健一⁴ (帝京大学医学部外科¹、栃木県立がんセンター外科²、癌研有明病院³、東京医科歯科大学腫瘍外科⁴)

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討 (RCT)

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、木村英明²、佐々木巖³ (横浜市立市民病院外科¹、横浜市大市民総合医療センター炎症性腸疾患センター²、東北大学生体調節外科³)

クローン病人工肛門造設例の経過と合併症の検討

①人工肛門関連合併症の概要と現状

○二見喜太郎、東大二郎、二木 了 (福岡大学筑紫病院外科)

②人工肛門造設例の経過と合併症 (多施設共同研究) —中間報告—

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、池内浩基³、舟山裕士⁴、根津理一郎⁵、藤井久男⁶、渡邊聰明⁷、飯合恒夫⁸、中村利夫⁹、水島恒和¹⁰、河野 透¹¹、木村英明¹²、池田 篤¹³、前田 清¹⁴、篠崎大¹⁵、板橋道朗¹⁶、荒木俊久¹⁷、大毛広喜¹⁸、

佐々木巖¹ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、兵庫医科大学第二外科³、東北労災病院外科⁴、大阪労災病院外科⁵、奈良県立医大中央内視鏡超音波部⁶、帝京大学外科⁷、新潟大学消化器一般外科⁸、浜松大学第二外科⁹、大阪大学消化器外科¹⁰、旭川大学外科¹¹、横浜市大市民医療センター炎症性腸疾患センター¹²、北里大学東病院消化器外科¹³、大阪市立大学腫瘍外科¹⁴、東京大学医科学研究所病院外科¹⁵、東京女子医大第二外科¹⁶、三重大学消化管小児外科¹⁷、広島大学外科¹⁸、東北大学生体調節外科¹⁹)

B-(4) 診療に伴う合併症/副作用および特殊型への対策プロジェクト

B-(4)-1 潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス腸炎の診断と治療コンセンサス作製 (15:25~15:35)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

B-(4)-2 炎症性腸疾患にともなう感染症の現状とその対策 (15:35~16:20)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器・肝臓内科

我が国における炎症性腸疾患の急性増悪・再燃因子の前向き実態調査 (特に感染症との関連性)

岡崎和一¹、○大宮美香¹、藤山佳秀²、千葉 勉³、高後 裕⁴、松井敏幸⁵、松本譽之⁶、平田一郎⁷、鈴木康夫⁸、花井洋行⁹、清水誠治¹⁰、渡辺憲治¹¹、藤井久男¹²、坪内博仁¹³、日比紀文¹⁴、渡辺 守¹⁵ (関西医科大学消化器・肝臓内科¹、滋賀医科大学内科学講座消化器内科²、京都大学大学院医学研究科消化器内科学³、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁶、藤田保健衛生大学消化管内科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、浜松南病院消化器病・IBDセンター⁹、JR大阪鉄道病院消化器内科¹⁰、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹¹、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部¹²、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野¹³、慶應義塾大学医学部内科学¹⁴、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁵)

炎症性腸疾患の急性増悪（再燃）における腸管細菌感染症の実態～非IBD外来通院患者および高齢者長期入院患者との比較検討～

○飯田貴之、竹内 健、阿部仁郎、渡辺文利、藤田 桂、花井洋行 (浜松南病院消化器病・IBDセンター)

免疫調節薬使用患者におけるワクチン接種の指針（試案）

○岡崎和一¹、余田 篤²、渡辺 守³ (関西医科大学消化器肝臓内科¹、大阪医科大学小児科²、東京医科歯科大学消化器病態学³)

炎症性腸疾患患者におけるインフルエンザワクチン接種状況とインフルエンザ感染症の実態

○藤井俊光¹、国崎玲子²、吉村直樹³、高添正和³、竹内義明⁴、山本章二朗⁵、長沼 誠¹、渡辺 守¹ (東京医科歯科大学消化器内科¹、横浜市大付属市民総合医療センターIBDセンター²、社会保険中央総合病院内科³、昭和大学消化器・肝臓内科⁴、宮崎大学消化器内科⁵)

潰瘍性大腸炎術後感染性合併症の調査・研究

楠 正人、三木誓雄、内田恵一、荒木俊光、吉山繁幸、井上幹大、○大北喜基、大竹耕平、藤川裕之、小池勇樹、松下航平、川村幹雄 (三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻病態修復医学講座消化管・小児外科学)

B-(4)-3 炎症性腸疾患に合併するリンパ増殖性疾患の現状 (16:20~16:30)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器肝臓内科

我が国におけるIBD患者のリンパ増殖性疾患の現状調査（試案）

岡崎和一¹、○深田憲将¹、渡辺 守² (関西医科大学消化器肝臓内科¹、東京医科歯科大学消化器病態学²)

B-(4)-4 炎症性腸疾患患者の妊娠出産における現状とその対策 (16:30~16:45)

総括 三浦総一郎 防衛医科大学

炎症性腸疾患患者の妊娠・出産転帰の解析

○長沼 誠^{1,6}、長堀正和¹、国崎玲子²、吉村直樹³、高添正和³、山本章二朗⁴、松井敏幸⁵、日比紀文⁶、渡辺 守¹

(東京医科歯科大学消化器内科¹、横浜市大付属市民総合医療センターIBDセンター²、社会保険中央総合病院内科³、宮崎大学消化器内科⁴福岡大学筑紫病院消化器科⁵ 慶應義塾大学消化器内科⁶)

B-(4)-5 高齢発症炎症性腸疾患患者の治療指針の必要性 (16:45~16:55)

総括 三浦総一郎 防衛医科大学

事務局連絡

(16:55 終了予定)

懇親会 (17:00~)

平成22年7月30日(金)

III. 研究報告(続)

p-C) 基礎プロジェクト (総合プロジェクトリーダー 日比 紀文、渡辺 守)

C-(1) 診療に有用なバイオマーカー開発

C-(1)-3 免疫関連バイオマーカーの開発

総括 千葉 勉 京都大学消化器内科 (9:00~9:30)

潰瘍性大腸炎病変粘膜におけるIL-33 mRNAの特異的発現

藤山佳秀、○今枝広丞、児堀綾子、馬場重樹、辻川知之、佐々木雅也、斎藤康晴、安藤 朗(滋賀医科大学消化器内科)

クローニング病腸管纖維化のバイオマーカーとしてのHSP47の重要性

○松浦 稔、仲瀬裕志、千葉 勉(京都大学大学院医学研究科消化器内科学)

周術期潰瘍性大腸炎における末梢血T細胞の動態

○横山陽子¹、福永 健¹、池内浩基²、上小鶴孝²、樋田信幸¹、應田義雄¹、飯室正樹¹、武田直久¹、吉田幸治¹、加藤恭一¹、菊山梨紗¹、河野友彰¹、河合幹夫¹、野上晃司¹、長瀬叶子¹、堀 和敏¹、中村忠郎¹、松本聰之¹(兵庫医科大学内科学下部消化管科、兵庫医科大学下部消化管外科)

IgA糖鎖解析による炎症性腸疾患の新規バイオマーカーの開発

○飯島英樹¹、井上隆弘¹、新崎信一郎^{1,2}、三善英知²、和田芳直³、辻井正彦¹(大阪大学医学系研究科消化器内科学¹、機能診断科学²、大阪府立母子保健センター³)

総括 竹田 潔 大阪大学大学院医学系研究科 (9:30~10:00)

自然免疫系による腸管炎症の制御機構

○竹田 潔(大阪大学大学院医学系研究科)

難治性腸管障害の鑑別を目的とした病態の解明

○三浦総一郎、穂苅量太、八月朔日秀明(防衛医科大学校内科)

IL-10産生B細胞の炎症性腸疾患の病態への関与

○石原俊治、岡 明彦、三島義之、大嶋直樹、楠 龍策、福庭暢彦、多田育實、森山一郎、結城崇史、木下芳一(島根大学医学部内科学講座第二)

炎症性腸疾患合併発癌に対する抗TNF療法の有用性

○鬼澤道夫¹、永石宇司¹、金井隆典²、鈴木雅博¹、柘植直人¹、山地統¹、根本泰宏¹、戸塚輝治¹、岡本隆一¹、土屋輝一郎¹、中村哲也¹、渡辺 守¹(東京医科歯科大学消化器内科¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²)

C-(1)-1 臨床的バイオマーカーの開発 (10:00~10:30)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

血液成分吸着除去療法の治療効果予測因子についての検討

○飯塚政弘^{1,2}、相良志穂¹、衛藤 武²(秋田赤十字病院附属あきた健康管理センター¹、同消化器²)

CsAの効果からみたバイオマーカー検索

○石黒 陽、櫻庭 裕丈、平賀 寛人、福田 真作(弘前大学光学医療診療部)

血漿アミノ酸プロファイルを用いた炎症性腸疾患の診断・活動性モニタリング

○久松理一¹、井上 詠¹、松岡克善¹、斎藤理子¹、筋野智久¹、米野和明¹、三好 潤¹、三上洋平¹、岩男 泰¹、緒方晴彦¹、金井隆典¹、日比紀文¹、安藤 朗²、藤山佳秀²、内山和彥³、高木智久³、内藤裕二³、吉川敏一³(慶應義塾大学医学部消化器内科¹、滋賀医科大学消化器内科²、京都府立医科大学消化器内科³)

C-(1)-2 疾患特異的バイオマーカーの開発 (10:30~10:55)

総括 坪内博仁 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学

潰瘍性大腸炎関連ペプチドHuman Neutrophil Peptide-1の腸管上皮細胞への作用

坪内博仁¹、○指宿和成¹、寄山敏男¹、藤田 浩¹、前田拓郎¹、児玉眞由美²、大井秀久³(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学¹、宮崎医療センター病院消化器科²、今村病院消化器内科³)

日本人クローン病バイオマーカーの検討

○光山慶一¹、松井敏幸²、坪内博仁³、金城福則⁴ (久留米大学医学部内科学講座消化器内科学部門¹、福岡大学筑紫病院消化器科²、鹿児島大学医学部消化器・生活習慣病学³、琉球大学医学部光学医療診療部⁴)

アレル毎の薬物応答遺伝子発現解析による免疫調節薬の有効性、安全性バイオマーカー探索：コンパニオン診断薬の開発に向けて

内藤裕二、○内山和彦、高木智久、吉川敏一（京都府立医科大学・消化器内科）

C-(1)-4 腸内細菌関連バイオマーカーの開発 (10:55~11:15)

総括 藤山佳秀 滋賀医科大学消化器内科

クローン病疾患マーカーとしての便中細菌叢 t RFLP に関する多施設共同研究

○藤山佳秀¹、松井敏幸²、松本譽之³、鈴木康夫⁴、本谷 聰⁵ (滋賀医科大学消化器内科¹、福岡大学筑紫病院消化器科²、兵庫医科大学内科・下部消化管科³、東邦大学医療センター佐倉病院⁴、JA北海道厚生連札幌厚生病院第一消化器科⁵)

潰瘍性大腸炎活動性マーカーとしての便中細菌叢 t RFLP 解析の可能性

○藤山佳秀¹、安藤 朗² (滋賀医科大学消化器内科¹、滋賀医科大学大学院消化器免疫分野²)

C-(1)-5 炎症による発癌バイオマーカーの開発 (11:15~11:25)

総括 味岡洋一 新潟大学院医歯学総合研究科分子診断病理学分野

大腸発癌と骨髓間葉系幹細胞

○那須野正尚¹、有村佳昭¹、渡邊秀平¹、永石歓和²、細川雅代¹、苗代康可³、篠村恭久¹、今井浩三⁴ (札幌医科大学第一内科¹、札幌医科大学第二解剖²、札幌医科大学医療人育成センター³、東京大学医科学研究所 先端医療研究センター⁴)

C-(2) 粘膜修復機構解析と治療応用 (11:25~11:45)

総括 今井浩三 東京大学

骨髓間葉系幹細胞由来 Gut trophic factor と腸上皮再生

○渡邊秀平¹、永石歓和²、那須野正尚¹、細川雅代¹、苗代康可³、有村佳昭¹、篠村恭久¹、今井浩三⁴ (札幌医科大学第一内科¹、札幌医科大学第二解剖²、札幌医科大学医療人育成センター³、東京大学医科学研究所 先端医療研究センター⁴)

大腸上皮幹細胞培養とその臨床応用技術開発

○中村哲也、油井史郎、根本泰宏、水谷知裕、鄭 秀、永石宇司、岡本隆一、土屋輝一郎、渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器病態学)

事務局連絡

閉会挨拶

(11:55 終了予定)

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」
平成 22 年度第 2 回総会プログラム

期日 平成 23 年 1 月 27 日 (木) 9:00~17:00

1 月 28 日 (金) 9:00~12:00

場所 味の素(株)本社ビル (東京都中央区京橋 1-15-1)

研究代表者 渡辺 守

(東京医科歯科大学消化器病態学)

事務局 東京医科歯科大学消化器病態学

担当 長沼 誠・長堀 正和・中村 哲也

TEL : 03-5803-5877 FAX : 03-5803-0268

E-mail : ibd.gast@tmd.ac.jp

第2回総会について

1) 演題発表について

- (1) スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリディスクまたは CD-ROM に保存したものをお持込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、御自分の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)
- (2) 発表 30 分前までに B1 会場スライド受付までご提出下さい。 その際、試写（出力確認）も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。
- (3) プロジェクト責任者の総括の発表は司会の中でお願い致します。臨床プロジェクト計画・研究成果の発表（1日目）は5分、討論3分で、基礎プロジェクト計画・研究成果の発表（2日目）は4分、討論2分でお願い致します。 時間厳守でお願いします。
- (4) 資料を配布される場合には、150 部を 1 月 25 日午前中必着で IBD 班事務局までお送りいただくか当日 8 時 40 分までに B1 会場までお持ち下さい。

2) 発表データについて

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。
不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願いします。

3) 会場セキュリティについて

- (1) 一階玄関ホール総会受付にて芳名録へご署名後、セキュリティカードをお受け取りいただき、改札を通って地下階会場へお進みください。
- (2) 館内はセキュリティ制ですのでセキュリティカードを必ず常時携行してください。退出される際にはカードをご返却ください。 カードの紛失があると全館内のセキュリティに支障を来しますので、くれぐれも紛失ならびにお持ち帰りにならないようご注意ください。

4) 懇親会について

1月27日会議終了後、12階カフェテリアにて懇親会を予定しております。

5) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

6) 会場案内図 味の素㈱本社ビル 東京都中央区京橋 1-15-1 / Tel 03-5250-8111



- ① JR「東京駅」八重洲中央口（徒歩 10 分）
- ② 東京メトロ銀座線「京橋駅」6番出口（徒歩 5 分）
- ③ 都営浅草線「宝町駅」A-2 出口（徒歩 3 分）
- ④ 東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」北口（徒歩 10 分）

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成22年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成23年1月27日（木）

開会（9:00）

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課：中川 義章先生
- II. 研究代表者挨拶・研究の進め方 研究代表者：渡辺 守
- III. 研究報告

p-A)疫学・研究成果公表プロジェクト（総合プロジェクトリーダー：武林 亨、渡辺 守）

A-(1) 総括的疫学解析プロジェクト (9:20～9:40)

総括 武林 亨 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

炎症性腸疾患の記述疫学 一臨床調査個人票データより一

○朝倉敬子¹、桑原絵里加¹、村重綾彩¹、武林 亨¹、井上 詠²、渡辺 守³（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学¹、慶應義塾大学医学部消化器内科・包括先進医療センター²、東京医科歯科大学医学部消化器病態学³）

潰瘍性大腸炎のリスク因子に関する多施設共同研究・症例対照研究（中間解析結果）

○大藤さとこ¹、福島若葉¹、廣田良夫¹、押谷伸英²、渡辺憲治²、長堀正和³、渡辺 守³（大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³、For the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis.）

クローン病のリスク因子に関する検討（文献的考察と研究計画）

○乾 未来、井出悠一郎、大藤さとこ、廣田良夫（大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学）

A-(2)患者視線に基づいた研究成果公表・広報活動プロジェクト (9:40～9:55)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

国民・患者・一般臨床医に対する啓発活動・広報活動・情報企画

渡辺 守¹、長堀正和¹、○高後 裕²、蘆田知史²、藤谷幹浩²、松本譽之³、中村志郎³、佐々木巖⁴、福島浩平⁵、松井敏幸⁶、岩男 泰⁷（東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、兵庫医科大学内科学下部消化管科³、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学⁴、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科学分野⁵、福岡大学筑紫病院消化器科⁶、慶應義塾大学包括先進医療センター⁷）

専門医育成プログラムの創成

渡辺 守¹、長堀正和¹、○高後 裕²、蘆田知史²、藤谷幹浩²、松本譽之³、福永 健³、佐々木巖⁴、松井敏幸⁵、岩男 泰⁶、藤山佳秀⁷、辻川知之⁷（東京医科歯科大学消化器病態学¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、兵庫医科大学内科学下部消化管科³、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、慶應義塾大学包括先進医療センター⁶、滋賀医科大学消化器内科⁷）

p-B)臨床プロジェクト（総合プロジェクトリーダー：松本 譲之、佐々木 巖）

B-(1) 診療標準化コアプロジェクト

B-(1)-1 潰瘍性大腸炎・クローン病の診断基準および重症度基準の改変 (9:55～10:15)

総括 松井敏幸 福岡大学筑紫病院消化器科

クローン病診断基準の改定案 H22年度「多施設アンケート調査を中心に」

○松井敏幸、○久部高司、平井郁仁（福岡大学筑紫病院消化器科）

「難治性疾患の医療費構造に関する研究」班での議論からの提言

○長堀正和、渡辺 守（東京医科歯科大学消化器内科）

B-(1)-2 診療ガイドライン作成・改訂（10:15～10:40）

総括 上野文昭 大船中央病院消化器肝臓病センター

新たに承認された治療法を加えたクローン病診療ガイドラインの厚生労働省研究班 upgrade version について

○上野文昭¹、松本譽之²、伊藤裕章³、井上 詠⁴、小林清典⁵、小林健二⁶、杉田 昭⁷、鈴木康夫⁸、野口善令⁹、渡邊聰明¹⁰、松井敏幸¹¹、渡辺 守¹²、正田良介¹³、樋渡信夫¹⁴、尾藤誠司¹⁵、日比紀文¹⁶、中山健夫¹⁷（大船中央病院消化器肝臓病センター、兵庫医科大学下部消化管科²、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック³、慶應義塾大学消化器内科⁴、北里大学東病院消化器内科⁵、大船中央病院光学診療部⁶、横浜市立市民病院外科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、名古屋第2赤十字病院総合内科⁹、帝京大学医学部外科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器科¹¹、東京医科歯科大学消化器内科¹²、国立国際医療センター総合外来部¹³、いわき市立総合磐城共立病院¹⁴、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、京都大学健康情報学¹⁷）

日本消化器病学会編集による市民向けクローン病ガイドブック（厚生労働省研究班協力）案の紹介

○上野文昭¹、松本譽之²、伊藤裕章³、井上 詠⁴、小林清典⁵、小林健二⁶、杉田 昭⁷、鈴木康夫⁸、野口善令⁹、渡邊聰明¹⁰、松井敏幸¹¹、渡辺 守¹²、正田良介¹³、樋渡信夫¹⁴、尾藤誠司¹⁵、日比紀文¹⁶、中山健夫¹⁷（大船中央病院消化器肝臓病センター、兵庫医科大学下部消化管科²、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック³、慶應義塾大学消化器内科⁴、北里大学東病院消化器内科⁵、大船中央病院光学診療部⁶、横浜市立市民病院外科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、名古屋第2赤十字病院総合内科⁹、帝京大学医学部外科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器科¹¹、東京医科歯科大学消化器内科¹²、国立国際医療センター総合外来部¹³、いわき市立総合磐城共立病院¹⁴、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、京都大学健康情報学¹⁷）

潰瘍性大腸炎診療ガイドラインの改訂作業

○上野文昭¹、松本譽之²、伊藤裕章³、井上 詠⁴、小林清典⁵、小林健二⁶、杉田 昭⁷、鈴木康夫⁸、野口善令⁹、渡邊聰明¹⁰、松井敏幸¹¹、渡辺 守¹²、正田良介¹³、樋渡信夫¹⁴、尾藤誠司¹⁵、日比紀文¹⁶、中山健夫¹⁷（大船中央病院消化器肝臓病センター、兵庫医科大学下部消化管科²、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック³、慶應義塾大学消化器内科⁴、北里大学東病院消化器内科⁵、大船中央病院光学診療部⁶、横浜市立市民病院外科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、名古屋第2赤十字病院総合内科⁹、帝京大学医学部外科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器科¹¹、東京医科歯科大学消化器内科¹²、国立国際医療センター総合外来部¹³、いわき市立総合磐城共立病院¹⁴、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、京都大学健康情報学¹⁷）

B-(1)-3 標準化を目指した治療指針の改訂（10:40～11:10）

総括 松本譽之 兵庫医科大学内科下部消化管科

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○松本譽之¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、中村志郎¹、福永 健¹、樋田信幸¹（兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBD センター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルコどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴）

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

○松本譽之¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長

堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、中村志郎¹、福永 健¹、樋田信幸¹（兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院IBDセンター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、泉大津市立病院消化器内科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルセどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴）

小児クローネン病に対する治療指針の作成

○田尻 仁¹、虹川大樹²、新井勝大³、石毛 崇⁴、井上 詠⁵、岩間 達⁶、牛島高介⁷、内田恵一⁸、大塚宜一⁹、鍵本聖一⁶、国崎玲子¹⁰、窪田 満¹¹、今野武津子²、佐々木美香¹²、清水俊明⁹、杉田 昭¹³、鈴木康夫⁵、須磨崎亮⁶、高添正和⁷、友政 剛⁸、豊田 茂⁹、長田郁夫¹⁰、根津理一郎²、藤沢卓爾²、松本譽之²、余田 篤²、米沢俊一¹⁴（大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹、宮城県立こども病院総合診療科²、国立成育医療センター消化器科³、群馬大学大学院小児科⁴、慶應義塾大学病院消化器内科⁵、埼玉県立小児医療センター総合診療科⁶、久留米大学医療センター小児科⁷、三重大学医学部第2外科⁸、順天堂大学医学部小児科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター¹⁰、北海道大学大学院医学研究科小児科¹¹、札幌厚生病院小児科¹²、岩手医科大学小児科¹³、横浜市立市民病院外科¹⁴、東邦大学佐倉病院外科⁵、筑波大学臨床医学系小児科⁶、社会保険中央総合病院内科⁷、パルセどもクリニック⁸、神奈川県立汐見台病院⁹、鳥取大学医学部周産期・小児医学²、大阪労災病院外科²、藤沢こどもクリニック²、兵庫医科大学内科学下部消化管科³、大阪医科大学小児科⁴、もりおかこども病院小児科⁵）

B-(2) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト 一診断面から一

B-(2)-1 新たなデバイスを用いたクローネン病小腸病変の診断と治療 (11:10~11:45)

総括 松本主之 九州大学大学院病態機能内科学

本邦のクローネン病診断におけるカプセル内視鏡の位置づけ：アンケート調査の結果から

○松本主之¹、江崎幹宏¹、渡辺 守²（九州大学病態機能内科学¹、東京医科歯科大学消化器病態学²）

クローネン病の小腸狭窄に対する内視鏡的拡張療法—多施設共同前向き試験に向けて—

松本主之¹、○平井郁仁²、松井敏幸²（九州大学病態機能内科学¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²）

クローネン病におけるCT検査の有用性：アンケート調査

○竹内 健¹、花井洋行¹、松本主之²（浜松南病院消化器病 IBDセンター¹、九州大学大学院医学研究院病態機能内科学²）

クローネン病に対するカプセル内視鏡の適応拡大に向けて：国内前向き共同研究結果から

○渡辺憲治¹、細見周平¹、鎌田紀子¹、十河光栄¹、山上博一¹、荒川哲男¹、大宮直木²、中村正直²、後藤秀実²（大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹、名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学²）

クローネン病病変に対するMR enterocolonographyの有用性の検討（誌上発表）

○玄 世鋒、長堀正和、藤井俊光、長沼 誠、渡辺 守（東京医科歯科大学消化器病態学）

B-(2)-2 癌サーベイランス法の確立 (11:45~12:00)

総括 渡邊聰明 帝京大学医学部外科

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

○渡邊聰明¹、味岡洋一²、松本譽之³、武林 亨⁴、井上永介⁵、飯塚文瑛⁶、五十嵐正広⁷、岩男 泰⁸、大塚和朗⁹、工藤進英⁹、小林清典¹⁰、佐田美和¹⁰、田中信治¹¹、友次直輝¹²、樋田信幸³、平田一郎¹³、松本主之¹⁴、渡辺憲治¹⁵、上野文昭¹⁶、渡辺 守¹⁷、日比紀文¹⁸（帝京大学医学部外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、兵庫医科大学下部消化管科³、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁴、北里大学薬学部臨床統計⁵、東京女子医科大学消化器病センター⁶、癌研有明病院内科⁷、慶應義塾大学内科⁸、昭和大学横浜市北部病院消化器センター⁹、北里大学東病院内科¹⁰、広島大学病院内視鏡診療科¹¹、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター¹²、藤田保健衛生大学消化管内科¹³、九州大学大学院病態機能内科学¹⁴、大阪市立大学医

学部消化器内科¹⁵、大船中央病院・消化器肝臓病センター¹⁶、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁷、慶應義塾大学医学部・消化器内科¹⁸)

クローン病に合併した大腸癌の surveillance program の検討 (直腸狭窄、痔瘻長期経過例の surveillance)

—preliminary study—

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、飯合恒夫⁷、荒木俊光⁸、渡邊聰明⁹、佐々木巖¹⁰ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、東北労災病院大腸肛門外科³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、大阪労災病院外科⁵、東京女子医科大学第2外科⁶、新潟大学消化器・一般外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、帝京大学外科⁹、東北大学生体調節外科¹⁰)

<昼食・幹事会> (12:00~13:00)

B-(3) 画期的な診断・治療の開発プロジェクト 一治療面から一

B-(3)-1 難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療の位置づけ (13:00~13:25)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

本邦クローン病に対するアダリムマブの寛解維持効果：前向き臨床研究の提案

○松本主之¹、仲瀬裕志²、渡辺憲治³、久松理一⁴、本谷 聰⁵、伊藤裕章⁶、鈴木康夫⁷、松本譽之⁸、松井敏幸⁹、日比紀文⁴、渡辺 守 (九州大学大学院医学研究院病態機能内科学¹、京都大学大学院医学研究科消化器内科学²、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、札幌厚生病院IBDセンター⁵、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック⁶、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁷、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁸、福岡大学筑紫病院消化器内科⁹、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁰)

難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムスとレミケードの比較試験について～前向き研究に向けて～

○松岡克善、金井隆典、井上 詠、久松理一、斎藤理子、筋野智久、高林 韶、米野和明、三上洋平、三好 潤、水野慎大、木村佳代子、矢島知治、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文 (慶應義塾大学消化器内科)

潰瘍性大腸炎初発例の臨床経過に関する検討一当科に置ける最近4年間の初発例156例の予後から一

○中村志郎、河合幹夫、河野友彰、上小鶴孝二、吉田幸治、横山陽子、菊山梨紗、飯室正樹、應田義雄、福永 健、樋田信幸、松本譽之 (兵庫医科大学内科学下部消化管科)

タクロリムス使用時における投与初期トラフ濃度の推移 (最終報告) (誌上発表)

渡辺 守¹、○長沼 誠¹、仲瀬裕志²、千葉 勉²、斎藤理子³、井上 詠³、日比紀文³、飯田三雄⁴、松本主之⁴、坪内博仁⁵、寄山敏男⁵、本谷 聰⁶、藤山佳秀⁷、安藤 朗⁷、松井敏幸⁸、高津典孝⁸、鈴木康夫⁹、松本譽之¹⁰、石黒 陽¹¹、加藤 順¹²、佐々木誠人¹³、猿田雅之¹⁴、城 卓志¹⁵、谷田諭史¹⁵、杉村一仁¹⁶、高添正和¹⁷、吉村直樹¹⁷、田中信治¹⁸、上野義隆¹⁸、内藤裕二¹⁹、内山和彦¹⁹、松山竜三¹⁹、平田一郎²⁰、藤井久男²¹、三浦綱一郎²²、光山慶一²³、吉岡慎一郎²³、渡辺憲治²⁴、国崎玲子²⁵ (東京医科歯科大学消化器内科¹、京都大学消化器内科²、慶應義塾大学消化器内科³、九州大学病態機能内科学⁴、鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学⁵、札幌厚生病院IBDセンター⁶、滋賀医科大学消化器内科⁷、福岡大学筑紫病院消化器科⁸、東邦大学医療センター佐倉病院内科 消化器センター⁹、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁰、弘前大学医学部光学医療診療部¹¹、岡山大学消化器内科¹²、愛知医科大学消化器内科¹³、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁴、名古屋市立大学消化器内科¹⁵、新潟市民病院消化器科¹⁶、社会保険中央総合病院内科¹⁷、広島大学病院内視鏡診療部¹⁸、京都府立医科大学消化器内科¹⁹、藤田保健衛生大学消化管内科²⁰、奈良県立医科大学消化器・総合外科²¹、防衛医科大学校第2内科²²、久留米大学病院消化器内科²²、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²³、横浜市立大学附属市民総合医療センター・IBDセンター²⁴)

B-(3)-2 適切な免疫調節剤投与法、infliximab 二次無効例に対する対処(13:25~13:35)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

インフリキシマブ維持投与時における免疫調節薬併用の意義

B-(3)-3 TREAT 研究中間解析結果と今後の解析について（13:35～13:45）

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

JTREAT 研究中間解析結果と今後の解析について

JTREAT 研究会 代表 兵庫医科大学下部消化管科 松本譽之

上力康孝¹、佐々木誠人¹、水野真理¹、国崎玲子²、木村英明²、千葉俊美³、山本章二朗⁴、三上 栄⁵、松浦 稔⁵、仲瀬裕志⁵、奥山祐右⁶、坂上順一⁷、内藤裕二⁷、保田宏明⁷、加賀谷尚史⁸、岡本 晋⁹、久松理一⁹、長沼 誠⁹、岩尾 泰⁹、緒方晴彦⁹、石黒 陽¹⁰、桜庭裕史¹¹、伊藤裕章¹²、細川雅代¹³、山下健太郎¹³、下立雄一¹¹、寺田陽平¹¹、本谷 聰¹¹、前本篤男¹⁵、○蘆田知史¹⁶、荒木俊光¹⁶、辻川知之¹⁷、飯塚政弘¹⁸、福田勝之¹⁹、垂水研一²⁰、柿本 城²¹、阿庭洋平²²、石田 久美²³、川上 研²³、村野実之²³、森田英次郎²⁴、十河光栄²⁵、渡辺憲治²⁵、飯島英樹²⁶、野澤謹次郎²⁵、石原俊治²⁵、久保田大輔²⁷、金井隆典²⁷、玄 世峰²⁷、長堀正和²⁷、渡辺 守²⁷、猿田雅之²⁸、須藤訓様²⁸、有廣誠二²⁸、谷島麻利恵²⁹、飯塚 文瑛²⁹、鈴木康夫³⁰、舟山裕士³¹、小島康弘³¹、長坂光夫³²、渡邊 真³²、中井勝彦³³、渡辺文利³⁴、花井洋子³⁴、竹内 健³⁴、飯田貴之³⁴、高津典孝³⁵、中村忠郎³⁵、吉田幸治³⁵、小坂 正³⁶、松本譽之³⁶、富田寿彦³⁷、三浦總一郎³⁸、穂苅量太³⁸、永尾重昭³⁹、久保田美和³⁹、小林青典⁴⁰、谷田諭史⁴¹、前田 修⁴²、安藤貴文⁴³、荒川大吾⁴⁴、三宅忍幸⁴⁵、大宮直木⁴⁶、中村正直⁴⁷、渡辺 修⁴⁷、本田 亘⁴⁷、後藤秀実⁴⁷、金城福則⁴⁸、高後 裕⁴⁸、日比紀文⁴⁹、朝倉敬子⁴⁹、武林 亨⁴⁹（愛知医科大学消化器内科¹、横浜市立大学総合医療センター²、岩手医科大学附属病院第一内科³、宮崎大学医学部消化器血液内科⁴、京都大学医学部附属病院消化器内科⁵、京都第一赤十字病院消化器科⁶、京都府立医科大学附属病院⁷、金沢大学附属病院消化器内科⁸、慶應義塾大学病院消化器内科⁹、弘前大学医学部附属病院光学内鏡診療部¹⁰、弘前大学医学部附属病院消化器・血液・膠原病内科¹¹、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック¹²、札幌医科大学医学部内科学第一講座¹³、札幌厚生病院第一消化器科¹⁴、札幌徳洲会病院消化器IBDセンター¹⁵、三重大学医学部附属病院¹⁶、滋賀医科大学医学部附属病院消化器内科¹⁷、秋田赤十字病院附属あきた健康管理センター¹⁸、聖路加国際病院¹⁹、川崎医科大学病院食道・胃腸内科²⁰、大阪医科大学第二内科²¹、大阪医科大学内視鏡センター²²、大阪市立大学消化器内科²³、大阪大学消化器内科²⁴、帝京大学病院外科²⁵、島根大学医学部附属病院消化器内科²⁶、東京医科大学医学部附属病院消化器内科²⁷、東京慈恵会医科大学²⁸、東京女子医科大学消化器内科²⁹、東邦大学病院センター佐倉病院内科³⁰、東北方災病院外科³¹、藤田保健衛生大学消化管内科³²、浜松市立病院IBDセンター³³、浜松市立病院消化器病・IBDセンター³⁴、福岡大学筑紫病院消化器科³⁵、兵庫医科大学下部消化管科³⁶、兵庫医科大学病院上部消化管科³⁷、防衛医科大学校内科学³⁸、防衛医科大学校光学内鏡診療部³⁹、北里大学東病院消化器内科⁴⁰、名古屋市立大学病院消化器代謝内科⁴¹、名古屋大学医学部附属病院消化器内科⁴²、琉球大学光学医療診療部⁴³、旭川医科大学消化器・血吸虫病制御内科学分野⁴⁴、慶應義塾大学医学部内科学⁴⁵、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学⁴⁶）

B-(3)-4 術後 Infliximab 併用による寛解維持効果（13:45～13:55）

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科学分野

術後 Infliximab 併用による寛解維持効果

佐々木巖¹、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、武林 亨²、渡辺 守³、○福島浩平⁴、岡崎和一⁵、吉岡和彦⁶、仲瀬裕志⁷、長沼 誠⁸、井上 詠⁸、日比紀文⁸、千葉俊美⁹、木谷 聰¹⁰、池田 篤¹¹、荒木靖子¹²、太田 章比古¹³、亀岡信吾¹⁴、加賀谷尚史¹⁵、山本隆行¹⁶、吉川周作¹⁷、齋山敏男¹⁸、高木智久¹⁹、吉田 優²⁰、木内喜孝²¹、松田耕一郎²²、三見喜太郎²³、石黒 陽²⁴、後藤秀実²⁵、国崎玲子²⁶、木村英明²⁷、正木忠彦²⁸、伊藤裕章²⁹、渡邊聰明²⁹、上野義隆³⁰、鈴木康夫³¹、池内浩基³²、高橋賢一³³、舟山裕士³⁴、杉田 昭³⁵、荒木俊光³⁶、友次直輝³⁷、井上永介³⁸、樋渡信夫³⁹、飯島英樹⁴⁰、中村好宏⁴¹、中村忠郎⁴²（東北大学大学院生体調節外科学分野¹、慶應義塾大学公衆衛生学²、東京医科歯科大学消化器病態学³、東北大学大学院消化管再建医学⁴・分子病態外科学分野⁵、関西医科大学内科学第二講座⁶、関西医科大学香里病院外科⁷、京都大学医学部附属病院内視鏡部⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸）

⁸、岩手医科大学内科学講座⁹、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター¹⁰、北里大学医学部外科¹¹、大腸肛門病センターくるめ病院¹²、家田病院肛門科¹³、東京女子医科大学第二外科¹⁴、金沢大学消化器内科¹⁵、四日市社会保険病院外科¹⁶、医療法人健生会土庫病院奈良大腸肛門病センター¹⁷、鹿児島大学病院消化器内科¹⁸、京都府立医科大学大学消化器内科¹⁹、神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野²⁰、東北大学高等教育開発推進センター保健管理センター²¹、富山県立中央病院内科²²、福岡大学筑紫病院外科²³、弘前大学医学部光学医療診療部²⁴、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター²⁶、杏林大学消化器・一般外科²⁷、医療法人錦秀会インフュージョンクリニック²⁸、帝京大学外科²⁹、広島大学光学医療診療部³⁰、東邦大学医療センター佐倉病院内科³¹、兵庫医科大学下部消化管外科³²、東北労災病院大腸肛門外科³³、横浜市立市民病院外科³⁴、三重大学消化管・小児外科³⁵、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター³⁶、北里大学臨床統計部門³⁷、いわき市立総合磐城共立病院³⁸、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学³⁹、防衛医科大学数学教室⁴⁰、兵庫医科大学下部消化管内科⁴¹）

B-(3)-5 外科治療法の現状と工夫 (13:55~14:35)

総括 佐々木巖 東北大学大学院生体調節外科分野

回腸囊炎内視鏡アトラス・診断基準の改定

佐々木巖¹、杉田 昭²、二見喜太郎³、畠山勝義⁴、藤井久男⁵、池内浩基⁶、舟山裕士⁷、○福島浩平⁸、小金井一隆²、飯合恒夫⁴、東大二郎³、吉岡和彦⁹、亀岡信悟¹⁰、渡邊聰明¹¹、楠 正人¹²、高橋賢一⁷、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、渡辺 守¹³（東北大学大学院生体調節外科学分野¹、横浜市民病院外科²、福岡大学筑紫病院外科³、新潟大学消化器・一般外科⁴、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁵、兵庫医科大学外科⁶、東北労災病院大腸肛門外科⁷、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁸、関西医科大学付属枚方病院外科⁹、東京女子医科大学第二外科¹⁰、帝京大学消化器外科¹¹、三重大学消化管・小児外科学¹²、東京医科歯科大学大学院消化器病態学分野¹³）

回腸囊炎治療指針の改定

佐々木巖¹、杉田 昭²、二見喜太郎³、畠山勝義⁴、藤井久男⁵、池内浩基⁶、舟山裕士⁷、○福島浩平⁸、小金井一隆²、飯合恒夫⁴、東大二郎³、吉岡和彦⁹、亀岡信悟¹⁰、渡邊聰明¹¹、楠 正人¹²、高橋賢一⁷、羽根田祥¹、小川 仁¹、渡辺和宏¹、鈴木秀幸¹、渡辺 守¹³（東北大学大学院生体調節外科学分野¹、横浜市民病院外科²、福岡大学筑紫病院外科³、新潟大学消化器・一般外科⁴、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁵、兵庫医科大学外科⁶、東北労災病院大腸肛門外科⁷、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁸、関西医科大学付属枚方病院外科⁹、東京女子医科大学第二外科¹⁰、帝京大学消化器外科¹¹、三重大学消化管・小児外科学¹²、東京医科歯科大学大学院消化器病態学分野¹³）

クローン病の術後長期例における intestinal failure (short bowel syndrome)についての調査研究と対策

佐々木巖¹、○渡辺和弘¹、小川 仁¹、羽根田祥¹、福島浩平²、舟山裕士³、高橋賢一³、杉田 昭⁴、渡邊聰明⁵、池内浩基⁶、亀岡信悟⁷、楠 正人⁸、畠山勝義⁹、藤井久男¹⁰、二見喜太郎¹¹、吉岡和彦¹²、渡邊昌彦¹³、根津理一郎¹⁴、水島恒和¹⁵（東北大学大学院生体調節外科学分野¹、東北大学大学院消化管再建医工学研究分野²、東北労災病院外科・大腸肛門外科³、横浜市立市民病院外科⁴、帝京大学医学部消化器外科⁵、兵庫医科大学外科学⁶、東京女子医科大学第二外科⁷、三重大学大学院消化管・小児外科学⁸、新潟大学大学院消化器・一般外科⁹、奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡・超音波部¹⁰、福岡大学筑紫病院外科¹¹、関西医科大学付属枚方病院外科²、北里大学医学部外科¹³、大阪労災病院外科¹⁴、大阪大学大学院消化器外科¹⁵）

「クローン病肛門部病変のすべて」作成に向けて

○二見喜太郎¹、東大二郎¹、佐々木巖²、杉田 昭³（福岡大学筑紫病院外科¹、東北大学生体調節外科²、横浜市民病院外科³）

潰瘍性大腸炎に合併した肛門病変についての調査研究-外科系施設の集計結果

藤井久男¹、○小山文一²、佐々木巖³、池内浩基⁴、大毛広喜⁵、亀岡信悟⁶、河野 透⁷、楠 正人⁸、杉田 昭⁹、中島清一¹⁰、中村利夫¹¹、名川弘一¹²、根津理一郎¹³、前田 清¹⁴、橋本可成¹⁵、長谷川博俊¹⁶、畠山勝義¹⁷、二見喜太郎¹⁸、舟山裕士¹⁹、吉岡和彦²⁰、渡邊聰明²¹、渡邊昌彦²² (奈良県立医科大学病院附属中央内視鏡・超音波部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生体調節外科学³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、広島大学病院消化器外科⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、旭川医科大学第二外科⁷、三重大学大学院消化管・小児外科学⁸、横浜市立市民病院外科⁹、大阪大学医学部附属病院消化器外科¹⁰、浜松医科大学外科学第二講座¹¹、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科学¹²、大阪労災病院外科¹³、大阪市立大学大学院腫瘍外科¹⁴、三菱神戸病院消化器科¹⁵、慶應義塾大学医学部外科¹⁶、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科¹⁷、福岡大学筑紫病院外科¹⁸、東北労災病院外科・大腸肛門外科¹⁹、関西医科技大学香里病院外科²⁰、帝京大学外科²¹、北里大学医学部外科²²)

B-(3)-6 外科治療法の予後 (14:35~15:00)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院外科

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討 (RCT)

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、木村英明²、佐々木巖³ (横浜市立市民病院外科¹、横浜市人市民総合医療センター炎症性腸疾患センター²、東北大学生体調節外科³)

クローン病人工肛門造設例の経過と合併症の検討 (多施設共同研究)

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、池内浩基³、木村英明⁴、池田 篤⁵、根津理一郎⁶、大毛広喜⁷、水島恒和⁸、前田 清⁹、河野 透¹⁰、中村和夫¹¹、藤井久男¹²、舟山裕士¹³、飯合恒夫¹⁴、渡邊聰明¹⁵、篠崎 大¹⁶、佐々木巖¹⁷ (横浜市立市民病院外科¹、福岡大学筑紫病院外科²、兵庫医科大学下部消化管外科³、横浜市大市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁴、北里大学東病院消化器外科⁵、大阪労災病院外科⁶、広島大学外科⁷、大阪大学消化器外科⁸、大阪市立大学腫瘍外科⁹、旭川医科大学外科¹⁰、浜松大学第2外科¹¹、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部¹²、東北労災病院大腸肛門外科¹³、新潟大学消化器・一般外科¹⁴、帝京大学外科¹⁵、東京医科学研究所外科¹⁶、東北大学生体調節外科¹⁷)

クローン病の再々手術のリスクファクターの検討

○渡邊聰明¹、佐々木巖²、福島浩平³、杉田 昭⁴、渡辺 守⁵ (帝京大学医学部外科¹、東北大学大学院医学系研究科生体調節外科分野²、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科分野³、横浜市立市民病院外科⁴、東京医科歯科大学消化器内科⁵)

(コーヒーブレイク) 15:00~15:15

B-(4) 診療に伴う合併症/副作用および特殊型への対策プロジェクト

B-(4)-1 潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス腸炎の診断と治療コンセンサス作製 (15:15~15:30)

総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス腸炎症例集作成の試み

鈴木康夫¹、○石黒 陽²、仲瀬裕志³、大宮美香⁴、平井郁仁⁵、長沼 誠⁶、山田哲弘¹、松岡克善⁷ (東邦大学医療センター佐倉病院内科¹、弘前大学光学医療診療部²、京都大学消化器内科³、関西医科技大学香里病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、東京医科歯科大学消化器内科⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷)

潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス再活性化症例の予後の検討

鈴木康夫¹、石黒 陽²、仲瀬裕志³、大宮美香⁴、平井郁仁⁵、山田哲弘¹、松岡克善⁶、○長沼 誠⁷、渡辺 守⁷ (東邦大学医療センター佐倉病院内科¹、弘前大学光学医療診療部²、京都大学消化器内科³、関西医科技大学香里病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、慶應義塾大学医学部消化器内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷)

B-(4)-2 炎症性腸疾患にともなう感染症の現状とその対策 (15:30~15:55)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器・肝臓内科

我が国における炎症性腸疾患の急性増悪・再燃因子の前向き実態調査（特に感染症との関連性）

岡崎和一¹、○大宮美香¹、藤山佳秀²、千葉 勉³、高後 裕⁴、松井敏幸⁵、松本譽之⁶、平田一郎⁷、鈴木康夫⁸、花井洋行⁹、清水誠治¹⁰、渡辺憲治¹¹、藤井久男¹²、坪内博仁¹³、日比紀文¹⁴、渡辺 守¹⁵（関西医科大学消化器・肝臓内科¹、滋賀医科大学内科学講座消化器内科²、京都大学大学院医学研究科消化器内科学³、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁶、藤田保健衛生大学消化管内科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁸、浜松南病院消化器病・IBDセンター⁹、JR大阪鉄道病院消化器内科¹⁰、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹¹、奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡・超音波部¹²、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野¹³、慶應義塾大学医学部内科学¹⁴、東京医科歯科大学消化器病態学¹⁵）

免疫調節薬使用患者におけるワクチン接種の指針（案）作成

○岡崎和一¹、余田 篤²、渡辺 守³（関西医科大学消化器肝臓内科¹、大阪医科大学小児科²、東京医科歯科大学消化器病態学³）

潰瘍性大腸炎術後感染性合併症の調査・研究

楠 正人¹、○荒木俊光¹、大北喜基¹、吉岡和彦²、本谷 聰³、二見喜太郎⁴、東大二郎⁴、鈴村利義⁵、藤谷幹浩⁶、高後 裕⁷、杉田 昭⁸、國場幸均⁹、北野厚生¹⁰、古畑智久¹¹、藤山佳秀¹²、清水智治¹²、前田 清¹³、水島恒和¹⁴、金子奉暁¹⁵、板橋道朗¹⁶、佐々木巖¹⁷、羽根田祥¹⁷、舟山裕士¹⁸、高橋賢一¹⁸、升森宏次¹⁹、花井洋行²⁰、飯田貴之²⁰、池内浩基²¹、内野 基²²、長谷和生²²、池田 篤²³（三重大学消化管・小児外科¹、関西医科大学香里病院外科²、札幌厚生病院消化器科³、福岡大学筑紫病院外科⁴、愛知医科大学消化器外科⁵、旭川医科大学光学医療診療部⁶、旭川医科大学消化器内科⁷、横浜市立市民病院外科⁸、京都府立医科大学消化器外科⁹、若草第一病院内科¹⁰、札幌医科大学第一外科¹¹、滋賀医科大学消化器内科¹²、大阪市立大学腎臓外科¹³、大阪大学消化器外科¹⁴、大船中央病院外科¹⁵、東京女子医科大学外科¹⁶、東北大学胃腸外科¹⁷、東北労災病院大腸肛門外科¹⁸、藤田保健衛生大学消化器外科¹⁹、浜松南病院消化器・IBDセンター²⁰、兵庫医科大学第二外科²¹、防衛医科大学校第一外科²²、北里大学東病院外科²³）

B-(4)-3 炎症性腸疾患に合併するリンパ増殖性疾患の現状 (15:55~16:05)

総括 岡崎和一 関西医科大学 消化器肝臓内科

我が国におけるIBD患者のリンパ増殖性疾患の現状に関する実態調査

岡崎和一¹、○深田憲将¹、松下光伸¹、大宮美香¹、渡辺 守²（関西医科大学消化器肝臓内科¹、東京医科歯科大学消化器病態学²）

B-(4)-4 炎症性腸疾患患者の妊娠出産における現状とその対策 (16:05~16:15)

総括 三浦総一郎 防衛医科大学校

妊娠出産に関する前向き多施設共同研究の提案—埼玉県下でおこなった患者アンケートをふまえて—

三浦総一郎¹、○穂苅量太¹、長沼 誠²、渡辺 守²、藤盛建二³、飯塚文瑛⁴、国崎玲子⁵、本谷 聰⁶、桶田信幸⁷、松本譽之⁷、日比紀文⁸（防衛医科大学校内科学¹、東京医科歯科大学消化器内科²、埼玉医大消化器肝臓内科³、東京女子医科大学IBDセンター⁴、横浜市立大学市民総合医療センター・炎症性腸疾患センター⁵、札幌厚生病院第一消化器科IBDセンター⁶、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸）

B-(4)-5 高齢発症炎症性腸疾患患者の治療指針の必要性 (16:15~16:30)

総括 三浦総一郎 防衛医科大学校

高齢者炎症性腸疾患診療の現状把握個人臨床調査票による検討

○高本俊介¹、朝倉敬子²、桑原絵里加²、村重綾彩²、武林 亨²、穂苅量太¹、渡辺知佳子¹、井上 詠³、日比紀文³